

ふれあい通信

いずみ

平成20年1月15日発行

6号

発行
社会福祉法人 いずみ会
秋田市泉菅野二丁目17番11号
TEL.018-896-5880



100歳のお祝い 大村 寿さん



竿燈 出陣式



わか杉大会開会式



みんなでおいでよ!
いっしょにカーニバル



泉小学校

校長 鈴木 廣司

福祉の泉が湧く街

水は高い所から低い方へと流れる。でも、泉は低い所から噴き上がる。地下に水を押し上げる力があるから。泉学区町内ができ、泉小学校が建つてからまもなく30年となる。その間、地域が一体となって取り組んだことが福祉であり、その種が小学校で開催されてきた「福祉ふれあいまつり」として結実し、15年目となった。

そしてこの泉の地に、最先端をいく福祉複合施設が「いずみ会」によって設立された。

まさに、地域が貯えてきた福祉への心とその力を噴き上げる場を得たといえる。玄関を入るとコーヒーの香りと幼児の歓声が聞える。福祉のすべてを有機的に配置した施設は、福祉教育指定校である本校の子どもたちにとって最高の学習の場でもある。

学校も含め地域がそれぞれの役割を果たし、コンコンと湧き続ける泉を守っていききたい。

リンデンバウムいづみ
紅葉ドライブ

10月24日仁別方面へ紅葉ドライブに行ってきました。天気にも恵まれ、絶好のドライブ日和でした。利用者の方々からは「山や木、葉が赤く染まっていてとても良かった。楽しかった」という声が聞かれました。



ケアハウス

秋のなべっこパスタ

恒例の秋のバスツアーは11月7日絶好の行楽日和に恵まれ、太平山リゾート公園で『きりたんぼ鍋』を作りました。アツアツの鍋と少々(?)のお酒で会話が弾み、楽しい時間を過ごす事ができました。その後、旭川ダム公園の『真つ赤な紅葉』を期待して紅葉狩りに行きましたが、紅葉も終わりに近づいており少し色あせていました。それでも、風が吹くたびに桜吹雪ならぬ紅葉吹雪の中を「風情があつていいね」

とそれぞれの思いをさせ、楽しんで歩いていました。



秋田わか杉大会
開会式に参加して

『きつと出会えるノ夢と感動』をスローガンにした第7回全国障害者スポーツ大会「秋田わか杉大会」の開会式が10月13日、県立中央公園県営陸上競技場で行われ、通所センター・障害福祉サービスセンターの利用者18名と職員4名が参加しました。

式典のダンス出演の際には、皇太子さまの前で演技できる喜びと興奮で、練習以上の躍動を披露することができ、その後、特設会場で行われた「ふれあい広場」での合唱発表では、どじよっこふなっこ・ふるさと・かあさんのうたを熱唱し、他県の選手へ秋田らしさをアピールす

ることができました。半年にわたる練習の成果を存分に発揮することができ、皆、笑顔で会場を後にしました。

なお、大会競技には、陸上競技・フライングディスク・水泳に各1名ずつ参加し、健闘しました。



一時保育 こども園

子育て支援の一環でもある一時保育の受け入れをしています。受け入れ時、母親から離れられず泣く子どももいますが担当の保育士が最後まで対応し、できるだけ不安な気持ちを和らげるようにしています。初対面でも



おんぶや抱っこをし肌と肌の触れ合いをすることで子どもは安心して泣きやむと言いますが、一時保育を担当し改めて痛感しました。その子の状態を見て慣れたきたら同年齢のクラスのお友達と一緒に遊んだり昼寝をしたり食事を共にし集団生活を楽しんでいきます。一時保育の子どもと在園児がお互いに刺激をもらい共に成長していったら嬉しいなと思っています。

お迎えに来る親は心配な気持ちで園に迎えに来ると思うのですが笑顔で会えると、ほっとして子どもを抱きしめています。

ウエルビューいづみハウスの

小さな旅



角館しだれ桜の前で

私たちの日常生活は、同じようなことの繰り返しです。平凡な生活リズムをつけ、元気に暮らすために、ドライブや交流プラザの行事に参加します。

平成19年10月1日付で、特別養護老人ホームリンデンバウムいずみの事務長に就任いたしました。

当施設の開設前の立ち上げからこれまで長年にわたって施設運営に携わってきた和田前事務長の後任という大役を仰せつかり大変恐縮しております。

皆様もご承知のとおり、少子高齢化の進展とともに、福祉、介護分野の情勢は一層厳しさを



特別養護老人ホーム
リンデンバウムいずみ
事務長 平塚 幸進

新任にあたり

昨年は、施設のバスで「小さな旅」をしました。春は角館のしだれ桜、夏は「道川の道の駅」、秋は上新城のお寺の境内の紅葉を拝観しました。

通院などの理由から全員参加は年々難しくなりました。移動しないで楽しめる「年忘れ会」を3階の広場に計画し、手作り弁当でカラオケ「北国の春」などを歌いながら春のくるのを待っています。

平成10年11月から法人設立・施設建設に向けて準備をすすめ、施設開設後7年の間いずみ会に勤務させていただきました。最初は福祉の何たるかもわかりませんでした。皆様方から繰り返し教わり、少しは理解できた気がします。

この間、職員の皆さんや地域の方々、利用者やその家族の方々の思い出が数多く、いずみ会を離れることはとても残念で



医療法人 明和会
本部介護福祉事業推進部
部長 和田 猛

退任にあたり

増しており、利用者は介護サービスの提供が受けにくく、また施設にとつては厳しい経営環境が続いております。

このような状況ではありませんが、皆様のご支援・ご指導を賜りまして、いずみ会がこれまで以上に利用者や家族の皆様を選んでもらえる施設となるよう、微力ではありますが頑張っています。いろいろと考えております。よろしくお願いいたします。



泉学区町内会連合会の30年記念の節目の年に、「いずみ竿燈会ユニット」を編成して、竿燈まつりに参加できる体制づくりをめざしています。

記念の年には、大若2本、中若2本、小若2本、幼若2本の「いずみ竿燈会ユニットチーム」で、子どもから大人、小中学生、障害のある人も参加し、福祉の街の竿燈として地域交流を図っていきたくと考えております。

今年は、職員や泉町内の方々

いずみ竿燈会に
差し手の協力を!

すが、いまままでご協力、ご支援をいただいたことに心より感謝申し上げます。今後も明和会において、介護福祉事業を推進する部署におりますので、新任の事務長をはじめ、どうかよろしくお願いいたします。

社会福祉法人いずみ会「理念」

- 1 私たちは利用者や家族の気持ちを尊重し、ニーズに応えられる施設をめざします
- 2 私たちは豊かな知識を身につけ、質の高いサービスを提供できる施設をめざします
- 3 私たちは地域とともに力を合わせ、地域福祉に貢献できる施設をめざします

で大若を差し上げられるように、いっしょに練習に参加してもらえればたいへん心強いことでもあります。小学生や中学生にも呼びかけていきます。

いずみ会のロゴマークについて

この度、いずみ会のロゴマークを制定いたしました。3つの輪は法人の3理念「利用者本位」「自己研鑽」「地域福祉貢献」を、またブルー色はいずみ会および泉地区の「いずみ(泉)」をイメージして作成されたものです。



特集
地域ふれあい祭

昨年11月、いづみ会でふれあい祭が行われました。当日は、竹生寮の皆さんのご協力で椎茸やパンの販売と、施設利用者の作品展示・軽食コーナー・ゲームコーナーそして、午前と午後2回、いづみ竿燈会による竿燈ばやしと、天候にも恵まれ竿燈の妙技を見ることができました。ご来場いただいた家族の方や地域の皆さん、そして竹生寮の皆さんありがとうございました。



短歌
心の三十一文字

誇るもの一つだになきわれ八〇才
残る齒二十六本医師にはめらる

八幡 春

黒枠の写真を決めて常に置く
残る人々の手間の省けむ

窪目 とし

古いあそび水彩の筆手がふるえ
四苦八苦する米寿の手習い

伊藤 ミエ

交流プラザ
催し物紹介

秋田市で活躍されている芸術文化団体等の発表を月1回交流プラザで開催してきました。地域の皆様にも是非ご覧になっていただきたいと願っています。平成19年度は左記のよな内容になっております。



和洋高校郷土芸能

- 4月 コーラスグループ、八橋人形「天神様」展示
- 5月 秋田大中南米民族音楽演奏
- 6月 笛巻き伝承の集い
- 7月 フラダンス「グランマーズ」、聖霊高校ハンドベル演奏
- 8月 いずみ竿燈会
- 9月 みんなの運動会
- 10月 コールマリア合唱、絵画展示会
- 11月 和洋高校郷土芸能
- 12月 聖霊短大ボランティアコンサート
- 1月 秋田大附属中吹奏楽部演奏会、小正月餅つき大会
- 2月 秋田ヤートセ「わけもん」(予定)
- 3月 桃の節句お茶会と八橋ひな人形展示マジックショー(予定)



秋田大中南米民族音楽演奏



秋田ヤートセ「わけもん」

佐々木ひでお・花の詩画展

平成19年10月10日～16日まで
ウェルビューいづみ 画廊にて

障害を乗り越えて
口に筆をくわえて描いた詩画20点をウェルビューいづみの画廊に展示してもらいました。
「赤トンボとリヤカー」は、刈り取った稲を親子で力を合わせてひっぱる姿を描いた作品です。昔の思い出をつづった心温まる詩に目頭を押さえる観覧者も見られました。その後、佐々木さんは



詩画「アザミの花」

「NHKニュースこまち」に出演されるなど、大いに活躍されており、また機会があれば、個展を開催してくださると話しています。

編集後記

今年の干支は、ねずみ。子の年は、大雨・台風・大雪など水に関する災害が発生しやすい年と言われています。新聞では、地球温暖化により、ヒマラヤの水河湖は急速に拡大し、大洪水を起こす危険さがあると報道しています。更に原油価格の高騰が続いています。価格の高騰が流速遅いカール氷河のごとく生活をじわじわ圧迫する様には脅威を感じるこの頃です。

ウェルビューいづみ事務局長

泉 晃弘

人権擁護委員に委嘱される



福祉複合施設
ウェルビューいづみ
統括部長
齊藤 壽一

福祉複合施設ウェルビューいづみの齊藤壽一統括部長が秋田市から推薦され、法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。人権擁護委員は、地域で人権思想を広め、町内の皆様の人権が侵害されないように配慮し、人権相談に無料で対応します。日常はウェルビューいづみに勤務しております。秘密は厳守させていただきますので、お気軽にご相談ください。☎(896)6277